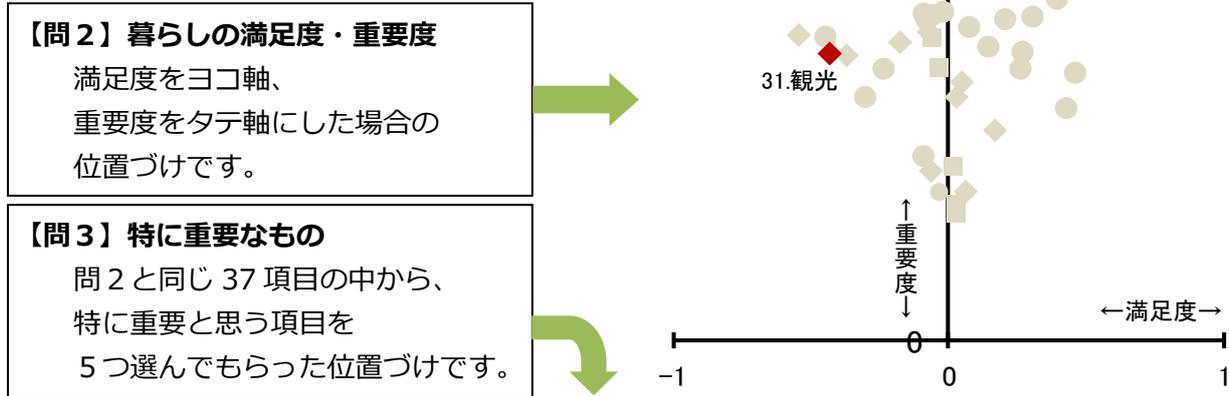
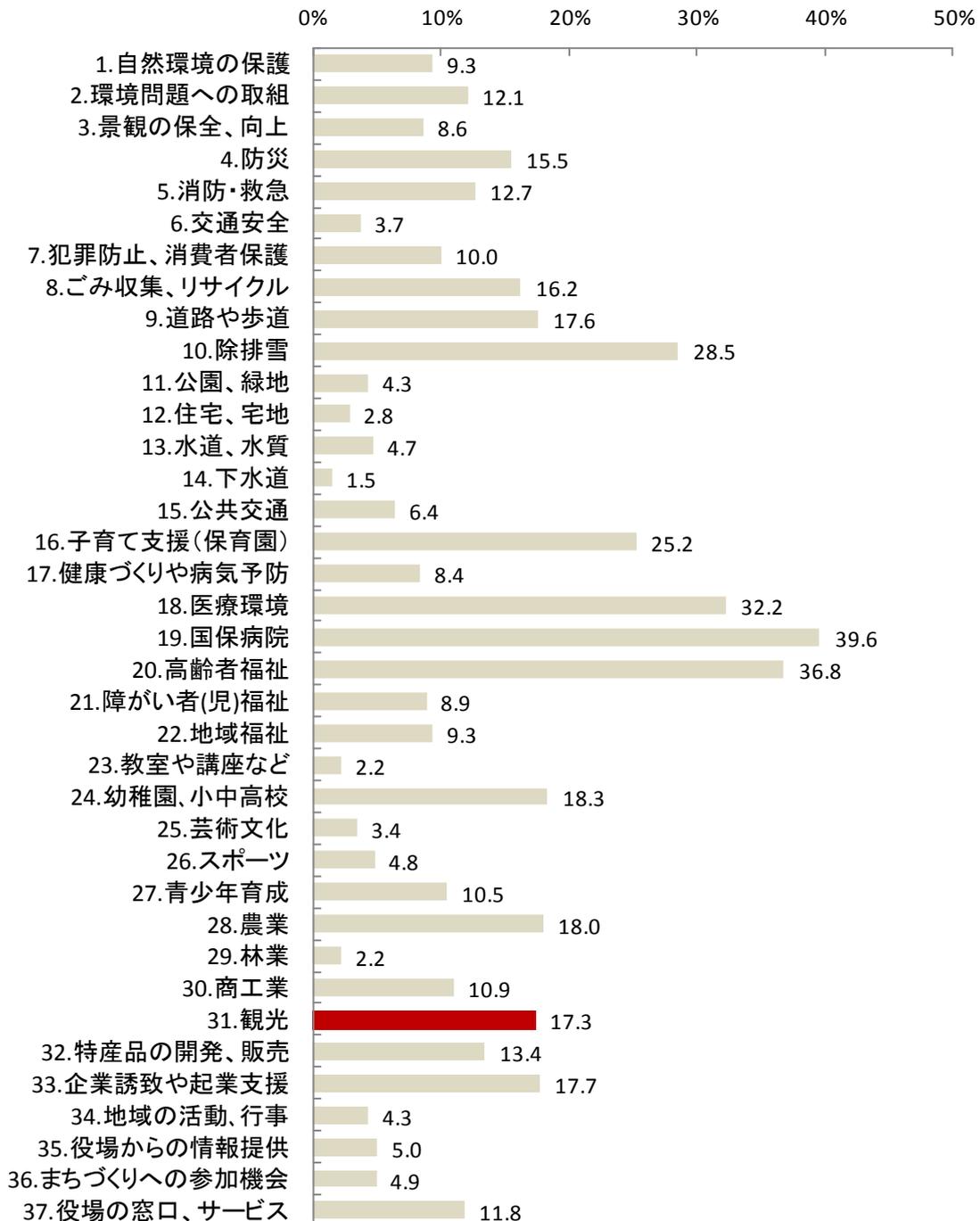


32 観光、交流

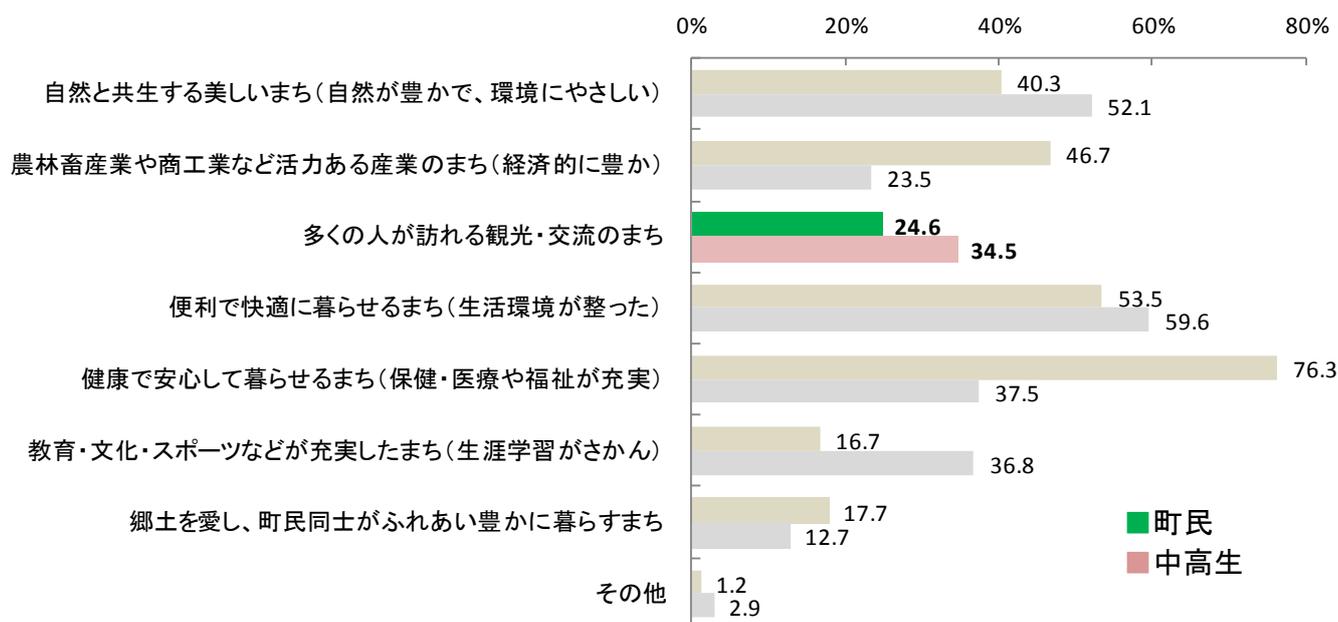
(1) 関連グラフなど



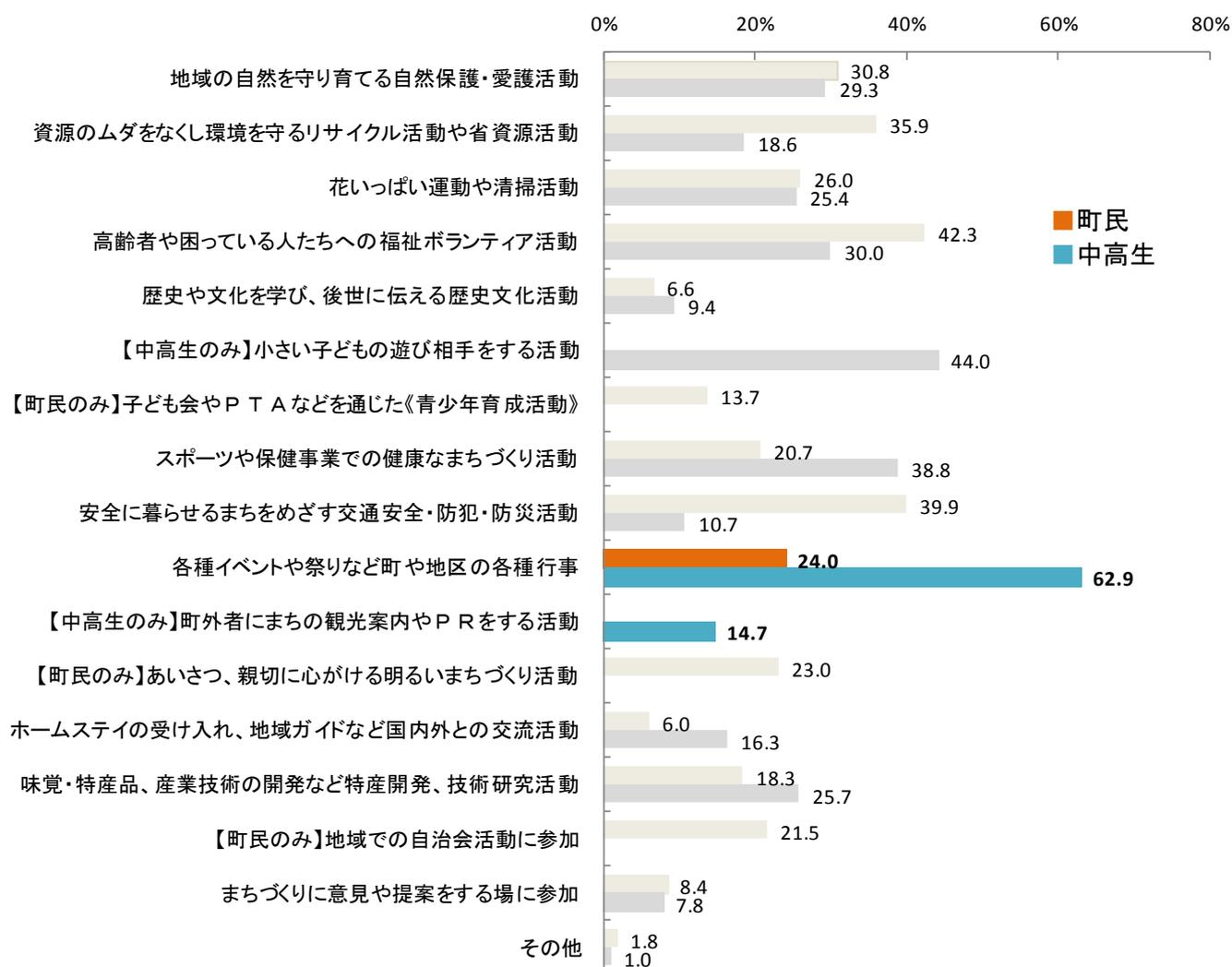
【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択/上段:町民、下段:中高生)



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
総合的な推進体制、ビジョンの確立	美幌町観光振興計画※の推進	観光振興計画を推進するため、基本コンセプトを「たのしさ」「やさしさ」「うまさ」とし、「たのしさ」では、交流による観光づくりとして、平成 26 年度美幌峠にてイベントを通して峠の魅力を PR する予定。「うまさ」では、びほろ笑顔プロジェクトにより特産品のブランド開発に試み、美幌豚醬「まんまんま」の販売に成功し、平成 26 年度には、まんまんまを活用した関連商品の販売に試みています。「やさしさ」では、今後、どのように情報発信していくことが、より多くの方に認識してもらえるのかを検討していきたい。	美幌町の観光資源の核となる「美幌峠」の年間入込客数が、年々減少傾向にあること。	個別に挙げている施策全てを、実行していないが、計画作成時から状況が大きく変わっており、検証したうえで、実施する施策を決定した後に実行したい。
	観光に係る企業、団体との連携強化	関係団体（観光物産協会、商工会議所）と月 1 回、定例会議を実施し、情報交換をおこない連携強化を図っている。また、平成 26 年度から開催場所を美幌峠（冬季期間除く）に変更予定であり、美幌峠の現状を共通認識する予定。	特になし	今後も、連携を継続実施する。
	広域観光に対応する関係団体の連携強化	美幌・津別・女満別・東藻琴の町及び観光協会が組織されている「美幌地区三町広域観光協議会」では各町で実施されているイベントの PR を相互に行うとともに、平成 26 年度から各町のゆるキャラをイベント時に集め集客を図る試みをしている。 美幌町・釧路市・弟子屈町・足寄町・津別町の町及び観光協会が組織されている「阿寒国立公園広域観光協議会」では、平成 26 年 5 月 26 日に国立公園指定 80 周年事業として記念シンポジウム等を実施しました。今後、更なる連携を図りたいと考えています。	広域連携があまり進んでいないことから、今後更なる連携が必要となると考えられる。	既存協議会を中心に更なる広域連携を図る
既存施設や観光資源の保全、有効活用	既存施設の利用促進（みどりの村、峠の湯びほろ、美幌峠レストハウスなど）	全ての施設について、指定管理者制度を導入し、効率良く管理している。また、利用促進についても、町及び指定管理者で協議し随時対策を講じている。なお全ての施設が老朽化してきており、年次的に計画立てた修繕が今後より必要になると考えられる。	施設の老朽化により、小破修繕を中心とした修繕対策では、非常に困難と考えられ、利用者の利便性の向上も含めた大規模・中規模の修繕も検討する段階に来ていると考えられる。	修繕計画の作成と、計画に基づく修繕実施。

	美幌峠、美幌川などの観光資源の保全	美幌峠は、阿寒国立公園の第1種特別地域であり、規制の厳しい区域となっていますので、関係機関（環境省川湯自然保護官事務所・オホーツク自然環境係）と協議し自然保護に努めています。また、「美幌峠を美しくする会」により、園地の清掃管理を行い美化活動を実施しております。（町より会へ負担金を支出しています）	特になし	今後も、活動を継続する。
観光情報の提供、サービスの向上	観光情報システムの推進	平成25年度に長期滞在型観光事業として、新たに斬新なデザインのパンフレット及びポスターを作成し、首都圏を中心にPR活動を実施しました。また、平成26年度、既存パンフレットを現状に合わせた内容に修正したものを作成し、パンフレット設置箇所を少しずつ増やすよう随時各施設に協力依頼しています。	ホームページの更なる活用や新たな情報発信方法の検討が必要。	パンフレットの設置箇所を増やすとともに、ホームページの更なる活用と新たな情報発信の発掘。
	観光ホスピタリティ（もてなしの心）の向上	美幌駅に観光物産協会で運営する観光案内所を設置し、案内体制の整備を図っている。	多様化する観光客のニーズに対応すること。	引き続き、札幌クリティカル向上の会議（研修）に参加して頂き、多様化するニーズに対応出来る体制づくりが実施出来るよう、観光物産協会と協議し進める。
	国際化に対応した観光案内板の充実やガイドの養成	英語・中国語のパンフレットの作成を行った。	ガイド養成の検討	外国人観光客の現在の入込状況と今後の推移を把握し、ガイド養成の検討を関係団体と協議する。
観光イベントの魅力向上	観光イベント・体験企画の充実	平成26年度、観光和牛まつりは、35回目の節目を迎え、35周年記念賞を提供するとともにステージショーの充実を図った。また、昨年より商工会議所主催の夏祭りが開催され、今年も内容を充実し実施される。	特になし	来場者のニーズに応えられるイベント内容となるよう随時検討する。
地域特性を活かした観光の推進	グリーンツーリズム※の推進	市民農園の開設、親子ふれあい農園、田んぼの学校や札幌女性と農家青年との交流会における農作業体験や農畜産物加工実習、試食会の実施により、都市と農村の交流を図っている。	多人数の団体等への受入態勢が整っていない。	今後も活動を維持する。
	特産品・土産品の開発	各関係団体（協会・会議所・びほろ笑顔プロジェクト等）が、特産品等の研究開発を進めている。例：まるまんまの関連商品、ピポロのお酢等	特になし	各関係団体が、活動を継続出来るよう、今後も支援を図る。

	シーニック・バイウェイ※の推進	東オホーツクシーニックバイウェイ連絡会議事業計画によって事業を実施する予定であるが、現在は、特に目立った動きがない状況。	事業が進んでいないこと。	今後の方向性については、東オホーツクシーニックバイウェイ連絡会議において決定する予定であるが、現在開催予定なし。
国際化に対応したまちづくり	公共標識、刊行物の外国語併記充実	英語・中国語のパンフレットの作成を行った。	公共標識の外国語併記が未実施であること。	外国人観光客の入込数等、現状把握するとともに、各関係機関と協議し優先順位を決めて、外国語併記の充実に向け取り組みたい。

※美幌町観光振興計画：本町の課題である通過型観光から滞在型観光・体験型観光への転換、地場産品の付加価値を高める特産品の開発など、今後の観光のあり方について示す計画。

※グリーンツーリズム：都市と農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動。

※シーニック・バイウェイ：「景観のよい」を意味する Scenic と、「脇道」を意味する Byway を組み合わせた言葉。景観・歴史・文化・自然・建築などの地域の魅力を「道」でつなぎ、美しい景観づくりや魅力ある地域づくりをめざす取り組みを進めている。

(3) 意見、提案

☺：小学生 ☻：中高生 ☼：育児ママ ♪：自衛隊 ※：高齢者 ●：町民 ○：職員

【美幌町で好きなもの・こと】

- ☺ 美幌峠
- ☺ 美幌峠の道の駅
- ☺ 峠の湯
- ☺ 美幌峠のいももち
- ☺ 美幌峠からの景色
- ☺ リリー山からの景色
- ☺ 自衛隊の山から見た町の景色
- ☺ まつり（神社のまつり、ふるさとまつり）
- ☺ みどりの村（自然がいっぱい、遊び場がある）
- ☺ ふるさとまつり

【将来なっしてほしい美幌町の姿】

- ☺ ディズニーランドがある
- ☺ 動物園がある
- ☺ イベントが多い町（大人と子供が一緒に楽しめる）
- ☺ 自衛隊の冬祭りが今よりも大きくなっている
- ☺ おまつりがいっぱいある
- ☺ 外国人観光客が来る町
- ☺ 冬まつりがあるといい

◎ 夏祭りのほかに、春秋冬まつりがある

- ★ もっと観光できるところを増やして町外から来る人を増やすべき。マラソン大会の実施や空港からの近さを利用して最終便の人を美幌町の宿泊施設に泊まってもらえばいいと思う。空港から美幌へのバスがないからどんどん北見や網走に流れてしまう。何とか町外の客を美幌町に長い時間居てもらえるためにもっと PR すべき。JR 美幌駅ももっと新しくしてほしい。いつも特急から降りるのは5人くらい。留辺蘂は10人くらい降りるのにPR不足。ファイターズのスポンサーになるとか。
- 観光客が立ち寄る工夫。(男性・60代)
- 観光客が来るまちづくり。(男性・70代以上)
- 観光客の誘致が必要。(男性・70代以上)
- 町全体がさびれているので、他の都市からも観光に来て、宿泊して、お金を町で使ってもらえるような行事、場所があればと思う。(女性・30代)
- 美幌は、観光ルートの通り街(通過地点)なので、これを何か観光的にできないか考えて欲しい。(女性・70代以上)

<宿泊施設、宿泊促進>

㊦ 北見の駅前にはビジネスホテルが増えているが、美幌町内には宿泊施設が少ない。

- 宿泊施設がなく、峠の湯に宿泊施設(温泉付ホテル等)をつけて欲しい。→道外のお客様を、北見や女満別に宿泊させてしまっている現状です。(女性・30代)
- 峠の湯に宿泊施設(ホテル)があっても良いと思う。(男性・70代以上)
- 交通の要衝となっているのだから、他地域との交流拠点を整備し、人が滞在できるように宿泊施設を峠の湯などに併設する方法もあると思います。財産である美幌峠の景観を生かすためにも、交流、滞在の施設を整備して、人が立ち寄る、集まる場所として知ってもらえるようにしても良いと思います。(男性・40代)
- 町外から来た人がよく言います。「ホテルが町内にもう少しあってほしい。」(男性・60代)
- 観光の面で友達が美幌に立ち寄ってくれましたが、泊まる所が充実していないと言われました。ですから、誰でも立ち寄れる場所が欲しいです。地元の人でも気軽に利用できたらいいのですがー。(女性・50代)
- 観光客がたくさん来られる場所。一箇所に施設や遊び場所と泊まる所が並んでいる場所があると便利でいいなあーと思います。(女性・50代)
- 大きなイベントに応えられる宿泊施設と、地元の多くの食材を利用できるホテル、飲食業への指導等、衰退する畜産業への取り組みによる地元飲食業の活力強化。(男性・60代)
- 北見、網走、阿寒で1泊しても美幌には泊まりません。エコハウスを有効活用し、宿泊型観光へ！時間と経済的に余裕ある網走農大生(本州から来ている)をターゲットに！そこから家族→知人と広がれば良いと思います。
- 美幌を核として大雪、知床、釧路方面に日帰りできるため宿泊施設を美幌につくることで、美幌の便利さや良さを実感し、定住につながっていく。
- “びほろ”に泊まると「いいことあるよ！」キャンペーン。美幌町周辺には有名観光地が存在し、観光客の宿泊数を増加させるのは難しいが、ビジネスマンの宿泊者数を増加させるのは実現可能。一方で大手旅行サイトへの登録がないこと、大手ビジネスホテルチェーン宿がないこと、夜の街の利便性から本町への宿泊を選択せず、網走市や北見市に宿泊する傾向が見られる。そこで、泊まると「いいことあるよ！」キャンペーンを実施し、飲食・旅館組合、町でタッグを組み、宿泊者には飲食店の割引クーポンが配布されたり、宿泊数のスタンプカードを発行し、宿泊数に応じて特産品(ベタな芋、玉葱等)が当たる仕組みを作ったり、峠の湯入浴割引券が配布されたりすることで、各所、各個が来客者に対し美幌

への宿泊を呼び掛けていくような仕組み作りが必要。

- 宿泊研修施設の設置。近隣ではネイパル北見（旧常呂少年自然の家）があるが世代に関わらず利用できる、食事を提供できる宿泊研修施設が欲しい。
- 峠の湯びほろに宿泊施設を設け宿泊者の取り込み、会議・宴会のできる施設
- 観光宿泊施設の充実。国道が4本も通っている町なのだから、観光にもっと力を入れるべきで、町が全てではなく民間企業が興味を持つようなアピールをするべき。
- 広い目で見れば美幌を中心に道東の観光地は点在しており、リーズナブルで質の高い宿泊施設街があれば可能性はあると思う。

<観光資源>

㊦ 観光スポットがもっとあれば、もっと人が集まるのでは。

- 観光の目玉があれば。（男性・50代）
- 美幌名物が無く、名所も美幌峠だけ。観光で案内する所が無い。（60代）
- 観光に力を入れるならば、美幌峠に向う道路を整備して欲しい。峠の湯から峠に向う両側は、今の時期じゃがいもの花がきれいに咲き、広々とした畑の風景を旅人が写真に撮るので、部分的に白樺の木を切って欲しい。カントリーロードとしてもう少し見直しても良いのではないのでしょうか。（女性・70代以上）
- 見る、遊ぶ、泊まるという場所がなく、ただ美幌峠があるだけ。昔、有名になったというだけの場所になっている様な感じがする。札幌でタクシーに乗った時、「どこから来たんですか？」と聞かれ「美幌です」と答えると、「あ〜！」と言われ、「知ってます？」と聞くと「知っています。美幌峠のある所でしょ？別海へ行くのに通りました。」とだけの話でした。隣町に空港もあるのに行き先は網走・北見他と宿泊客も他へ行ってしまいます。せっかく自然や環境・気候が良いのに、施設などが無いため損をしていると思います。他からの外貨が美幌町に落ちれば、豊になっていくのでは？美幌町好きですヨ！！（女性・40代）
- 東モコトは芝桜、上勇別はチューリップ、小清水はゆり…。美幌町は…？町外の人が、わざわざ美幌に足を止める何かがあるのでしょうか？10年以上前だと思いますが、みどりの村の桜、びっくりする程見事でした。ですが、今はどうでしょう。今年も見に行きましたが、とてもがっかりです。（女性・30代）
- 美幌は、おいしい食べ物がたくさんとれます。それなのに、観光への取り組みがなっていません。それを利用して、全国へ美幌町を知らせる事や観光客を呼び入れるなど、企画の立て方がなっていません。もっと考えてみたらいかがですか？そういう能力のある人に観光の手助けをしてもらうようにしてみたいかがですか？能力を持った人の意見を取り入れれば、美幌はあつという間に有名になるはずですよ。（女性・70代以上）
- 美幌町の観光施設について。花で観光客を呼べる施設を作るべきだと思います。大空町の芝桜、湧別町のチューリップ、遠軽町のコスモス、紋別市のラベンダー、北見市温根湯のムラサキツツジ等がありますが、美幌町には何もありません。他の市町村の2番煎じではなく、他で植えていない花種にすることで、観光客を呼べる施設になる。（男性・60代）
- 地方の人が「美幌に〇〇があるから行こう」と心躍るものが未だに見つかりません。集客、宿泊もできる環境を。
- 施設や食べ物、その町独特の何かを見つけ出し、まずは美幌町の名前を知れ渡らせる。興味を持たせることを目的とする。
- 美幌町は他の町の人が「行ってみよう」と思う場所が無いので、正統派な名所だけでなく隠れた名所をPRして集客し活気ある町に変える
- オリピックコーナーを峠の湯に設置し宣伝と物産促進につなげる（清里町のパパスランドの様に）
- 地元カフェの活用。外からの視点でいうと、美幌にはチェーン店ではない洒落た地元カフェ

エが点在しているので、これらのカフェを「いなカフェ」みたいな感じで町のコミュニティとしてデザイン（コーディネート）してみると、ひとつの観光資源になるのではないかと。

- 根室市のエスカロップや帯広市の豚丼など代表的なご当地料理があると PR 活動も行いやすい。
- 観光レベルアップ事業。美幌町は観光資源に乏しいと思われるため、町民に対して「観光客に美幌町にきてもらうために」アンケートをとって参考にす。美幌観光和牛まつりに有名人を呼ぶ（今年の芋洗坂係長は人が結構きていました。）などもっと有名人がきてくれるようにする。まつりにレースなどを盛り込む。（昔は川下りをやりました。）日本のマチュピチュ竹田城みたいに、人が押し寄せるくらいの観光スポットがないか探す。
- 道東観光の美幌町通過者がいかに町内でお金を落とさせるかを考える方が現実的。美幌和牛や美幌町生産の野菜を使ったメニュー及び土産物、スイーツを開発し、通過型観光者及び近隣市町村からの集客を目指す。
- 既存の基幹作物（芋、人参、アスパラ）による観光農園化。隣接する空港・観光名所の存在、国道が多数交差する交通の利便性など本町は立地条件的に観光農園事業が展開出来る条件下にある。JAによる観光農園事業（サウパ、イゴ、プラム狩り）は、現在、年間来客数で数千人、年間売上げで1~2千万円までに成長している。サウパ狩りによる修学旅行生の受入時に横浜市教頭より、「北海道の魅力が詰まった農業体験を取り入れたいという強い要望があるにも関わらず受け皿がない」と聞いた。果樹観光農園化は本町では無理でも、既存の基幹作物（芋、人参、アスパラ）による観光農園化は図れる。それに絡めて修学旅行生のファームステイの受け入れ先となり、農村自体を売り物にすることも可能。フットパス（田園や牧草地帯を散策し景観を楽しむ）で農村地帯自体を売り物にする企画も本町でも実現可能。（峠牧場ウォーキングに参加したが、峠牧場もフットパスに最適）
- 市民農園を更に進化させ、クラインガルテン化。みらい農業センター開催する市民農園を更に進化させ、クラインガルテン化（滞在型市民農園）し、みどりの村とのコラボ等、様々な手法が考えられる。来客者＝外貨獲得（町内での宿泊、飲食、購買による経済的波及効果）、農業への理解、関心が向上＝地場特産品の需要増、知名度向上（芦別、増毛、仁木、深川など）などの効果がある。総合的に需要、実現性、手法等について検討に入るべき。
- 美幌峠牧場の観光牧場化。新たな観光地として、美幌峠との相乗効果を図る。

<既存施設>

- ◎ みどりの村のマッシュルームなどをきれしにしてほしい。
- ㊦ 博物館やみどりの村は郊外にあり遠い。内容もあまり PR されていない気がする。
- ㊦ みどりの村はみんなで宿泊して楽しめるので、とても良い。今年も利用する。
- みどりの村を中心に、あんずの木林を作って、果実と花でたくさんの人々が訪れてくれればと夢を見ている。ハスカップなど…おいしいスイーツなどなど。（女性・60代）
- 観光施設の見直し。アクセスがもっと便利で、地元以外の人たちに多く活用してもらえるようにする。（女性・50代）
- 博物館をみどりの村と一体的に、こどもが遊ぶスペースとして再整備を図る。具体的には博物館を廃止（規模縮小）し屋内の子供の遊び場に変える。（網走や、中標津、紋別の道立公園や新さっぽろのファンタジーキッズリゾートのイメージ）企画展などのスペースは残し、展示は必要最小限にとどめる。
- 町外に通じる主要道路に商店街はあるが町外の人には寄りづらい所が多い。アンテナショップや土産物の直売所・ドライブ時に立ち寄れる魅力的な店舗やスペースなど設置し、PRに繋げていく。TVやインターネットなどで美幌町についてPRをする。

<新たな施設>

- 道の駅は美幌峠にあるが、街中に置くことにより、町の活性化につながると考えます。美

幌の特産物の商店温根湯のように世界一とまではなくとも、目玉となるもの（イメージ的には大きいオブジェ、ぎゅうたろのような）を設置すると、まち全体の活性化につながる。

- レジャー施設の建設。若者・家族連れが近隣市町村から集まってくる。夏期における屋内レジャープール施設等、特に、冬場の子供連れ家族が集まってくる屋内型レジャー施設。大規模なものでなければ、いけない。

<イベント>

- ☺ 大きなお祭りをふやしてほしい
- ☺ イベントの期間を長くしてほしい
- ★ ジャニーズのコンサートをしてほしい
- ★ 祭りやイベントを増やしてほしい

㊦ 昔あった「スターダストカーニバル」や「千人おどり」などのような、人が呼べるイベントが（再び）できないか。

- 美幌町は各町内単位で祭りや行事を主催しているが、町を代表し、周辺市町村から客を呼べるイベントがない状況にある。よって、道外の出身者が多い自衛隊の特長を生かし、郷土の祭を大通りで披露するようなイベントを開催してはどうだろうか。置戸町の間ばん馬や斜里町のねぶた祭のような行事が欲しいところである。（男性・60代）
- イベントを作る。道東一のウォーキングコースを作る。（男性・30代）
- 色々な所の道の駅に行くと、その町ではなく、他の町のイベントのポスターが貼ってあり、こんなことをやっているんだ、行ってみたいと思いますが、美幌町のポスター（和牛祭りとか）はまだ見たことがありません。PRしなくても人はたくさん来るとは思いますが、広く美幌町をPRして欲しいです。（女性・40代）
- 他市町村からも参加出来るイベントがあればよいと思う。（50代）
- 楽しくて他の町の間が「美幌に行くべ！」って言うくらいの何かを考えませんか？正直、和牛まつりは昔と違って楽しくないですよ。牛の丸焼きとか、川下りとか、花火とか、どうしたんですか？ここ何年か行ってませんよ！まったく楽しくないからです。（40代）
- みんなが楽しめるイベント。（女性・30代）
- 夏まつりも今年は一日だけ。子供達に楽しいまちと印象づけるには、行事も長くやっていくことが大切ではないか。予算がないからと何でも縮小していったら楽しい町ではなくなり、昔は良かったとグチばかりで、つまらない町になる様な気がする。（女性・60代）
- 祭りが少ない。（男性・40代）
- 小さい子供から老人までみんな参加できる行事、場所が欲しい。町外から引っ越して来た人達が、美幌町民と交流できる場があればと思う。（女性・30代）
- 秋まつりのあと冬まつりまでの間に何かお祭りを増やしたら楽しいかも。（女性・40代）
- 町民全員でつくりあげるようなイベント。（男性・50代）
- 若い人にとったら本当につまらないし、結婚後も心配がある。もっとイベントとか増やして、町外からも人が集まるようにとか、予算が少ない中でも工夫できることがいっぱいある。（女性・10～20代）
- 年々祭典の規模がどんどん小さくなってきているので、人口が減少している中でも、お祭りや花火大会などの規模を大きくしたり、人の出入りを多くできるようなイベントを考え、美幌町の毎年恒例の行事などを作って美幌のPRに繋げる。札幌、旭川、函館など人が多く集まる場所のイベントを参考にして、どのような魅力に多くの人達が関心を持って行くのかを考える。（例）期間を決めてグルメの祭典を作り、ビアガーデンを入れる。
- 美幌と言えば、○○と伝えても認識度は低く、あたりさわりのないような町という印象があ

る。そこで、印象を脱却すべく、和牛まつり・デュアスロンに並ぶ永く続くイベントを開基 130 周年に向けて取組み、開基イベントに合わせて第 1 回〇〇を開催する。(例えば、上記の 100 km 歩こう大会とか)

- ナイナイのお見合い大作戦を美幌でやる。町の PR も出来るし、町外からの女性を呼び込める。人気テレビ番組であればあるほど良い。またフェイスブックにアップされた場所や食べ物はかなり広くまで拡散しますし影響力が強い。情報発信ツールとしては有効。(年齢層限られますが)
- 年齢に応じた出会いの場・イベントの企画。お祭りなどは近隣市町村の住民も楽しみにしているようなので、年齢に応じた新しい企画も行い、さらに美幌町をアピールしていく。

<広域での取組み>

- 美幌や近隣の町の良さを知ってもらうために、旅行会社に協力をもらって格安でツアーを企画。他町村にも協力をもらってオホーツク全体のアピールができればおもしろい。
- 近隣のイベント共催による集客と町の PR

<道の駅>

㊦ 美幌峠だけでなく、もっと近くに道の駅があれば。峠の湯に隣接していたら、観光客も利用するのではないか。

- 美幌峠についての事ですが、私は景色を見に一年に何度か足を運んでいます。道の駅の二階が休憩所になっているのですが、団体客が食事している釜飯のような匂いがひどくて、場所も無くゆっくりできませんでした。これでは、家族連れなどの一般客が利用できないと思います。せっかくの良い場所なのに、残念に思います。(女性・60代)
- 市街地に道の駅を。美幌峠は少し遠い。売店が大きくなった位ではダメ。(男性・50代)
- 町のまん中に道の駅を作ってほしいです。(女性・50代)
- ここ数年前より、地方の他県へ車旅を楽しんでいます。他県の行事、イベントは最高です。また、道の駅では、同年代の人と会う楽しみが広がり、見る物聞く物も、どんどん吸収して来ています。地元にもどると、何一つ自慢出来る物は無く、美幌峠にある道の駅の活用もお粗末です。なぜ山の上に？最近の道の駅は、町内の人達も集まる程の場所となっています。ぜひ美幌町内、特に峠の湯周辺の整理を復活し、温泉、キャンプサイト、キャンプ場など自慢できる場所を作って下さい。峠の湯に行った時はいつも思います。町作りに期待します。最下位の道の駅は、いません。(女性・60代)
- 美幌町に道の駅を作ったらどうでしょうか。美幌駅にあります観光物産(おみやげ品)などを道の駅に置けば、観光客の目玉になると思います。(女性・70代以上)

<その他>

☆ 遊べる川があったら楽しい

㊦ 美幌川はとてもきれいなので、カヌーをしたらどうか。

- 他から観光に来る方に、何か贈り物をあげるとかクーポンを充実させるとか、特典をつけてはどうですか？(女性・40代)
- 美幌に生まれ、町外に出て戻ってきた者です。昔に比べて町全体に活気がないのが残念です。観光や商店街等、人を呼び込む働きかけが少ない。イベントや文化事業を増やすといいと思う。町の魅力再発見として、リピーターしたくなるお店や観光地、イベント等を発掘し外へ伝えていくべき。(女性・40代)
- 美幌峠を景観以外の観光名所にする。美幌峠からの眺めはきれいではあるが、他に勝る景観ではないので、みんなが大好きなお祭りのように露店をたくさん並べて、美幌の限定特産品や他にはない観光土産(定番のキーホルダーなど以外)を販売する。